

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

12月17日(水) かがくのとも12月号「つりぼり」

テーマ設定の理由

絵本に出てくる海の生き物を作って遊ぶ

活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・ペーパーの芯、ハサミ、画用紙、紐

探究活動の実践・子どもの姿・振り返り



絵本を読んだ後に子どもたちから「作りたい!」という声が上がリ、ペーパーの芯を使って釣り堀の生き物を作っていました



絵本の作り方の説明を見ながら自分たちで作っています。鉛筆で線を描いてハサミできれいに切っていました。



ペーパーの芯を二本使うオマールエビはとても難しかったのですが、みんなで教えあいながら、一つひとつのパーツごとに作っていました。



オオウナギは小さく切ったペーパーの芯と紐をつないで作ります。段々と形になっていくと「釣り竿も作らないと」と忙しくなっていました。



水色の布を使って釣り堀を作って、自分たちで作った生き物を泳がせています。



もっと釣り堀っぽくしたいと考えて、劇で使ったヨーヨー屋さんのお店を使ってみます。「いらっしゃい」と自然と声も出て釣り堀屋の店になっていました。



子どもたちが「作った生き物と、釣り竿を並べて写真を撮りたい」と話していたので、遊び終わってみんなで撮影もしました。

作ることが大好きなさくら組にとって『つりぼり』の絵本は、子どもたちの興味を一気に集める内容で、読み終わるとすぐに「よしっ、作ろう」となっていました。絵本に載っている作り方をしながら、難しい曲線をハサミで切ったり、細かい所までペンで色を付けたりして好きな海の生き物を作っています。できあがってからも、子どもたちで釣りができるように、使えるものを探して釣り堀で遊べるようにしていました。